

第 6 期 第 7 回 武蔵野市図書館運営委員会 議事要録

日 時 平成 27 年 5 月 25 日 (月) 17 時 30 分開会 19 時閉会
場 所 中央図書館 4 階会議室
出席者 委員 8 名、
船崎委員長、毛利副委員長、伊野委員、桂委員、小林委員、田丸委員、花村委員、松山委員
事務局 9 名
養田館長、奥野副参事、前田課長補佐、盛田課長補佐、秋庭係長、迫館長、川西課長補佐、小林主任、森本

内 容 1 図書館の運営について
2 吉祥寺図書館の在りかたについて
3 その他

【司会】

1. 開会

定刻となったので開会する。

【図書館長】

4 月に市議選があり、定数 26 で新人が 7 人と市議会も大きく変わった。図書館基本計画も 22 年度からスタートし、折り返しの年である。

今年の本中央図書館が出来て 20 周年で、周年行事も予定している。前身の武蔵野町立図書館が昭和 21 年に戦後多摩地区では最初の公立図書館として整備され、それから 69 年と非常に意義深い年である。運営委員会のご協力のもと、今後もより良い図書館活動を行っていきたいと考えている。

【司会】

議事の前に 1 点連絡事項を。

4 月に定期人事異動があり、プレイス副館長が新たに着任した。また、管理係長も移動があった。

2. 議事

★議題 1 平成 27 年度図書館事業目標（案）について

【事務局】

議事に入る前に事務局から訂正、お詫びを申し上げたい。

事前に通知した議事のうち「平成 26 年度図書館評価（案）について」は資料作成が遅れており、本日審議いただくことができない。本件について次回委員会で審議をお願いしたい。

【図書館長】

資料 1 をお願いしたい。

前回委員会で本項目について意見をいただいた。それらの意見を反映し取りまとめたのが、今回の資料である。

今回の運営委員会で、27 年度事業目標を確定したい。

重点中長期目標（案）について、主に前回からの修正点を説明する。

NO 4 「市民や利用者の多様なニーズに対応するために、多様な情報資料を蓄積し、各図書館での蔵書の充実を図ります。」の単年度目標 3 項目め「蓄積された資料をもとに、積極的な広報や年 2 回以上の利用者講座等の実施などを通じて、市民や利用者ニーズへの対応を図ります。」について、「利用促進」というニュアンスが中長期目標と整合しないとの意見を踏まえ、文言の修正、微調整を行った。

NO 7 「利用者が本に興味を持てる情報の提供やテーマ別配架の実施により、利用者が本に親しめる環境整備を進めます。」に記載のあった「児童・ヤングアダルト資料について、引き続き収集と整備を進めます。」について、定量的評価ができないという意見を踏まえ、その他目標に変更した。

その他中長期目標の NO 9 「課題解決支援テーマ展示、各館と庁内部局における事業との連携・PR の実施」について、意見を踏まえ重点中長期目標 7 「利用者が本に親しめる環境整備」中に追加した。

前回 NO 9 に記載していた「障害者サービスのためのボランティア養成継続」について、意見を踏まえ、その他目標（別紙 2 その他目標 14 参照）へ変更した。

前回 NO 9 に記載していた「大活字本の充実」について、シニア世代だけでなく視覚障害者の方へのサービス拡充という効果も考慮し、その他目標（別紙 2 その他目標 14 参照）へ変更した。

その他中長期目標（案）について前回からの修正点を説明する。

前回 NO 7 に記載していた「地域の情報拠点としての方法の蓄積」について、図書交流センターの終了に伴い削除した。なお、図書リサイクル事業は継続して実施する。

前回は重点中長期目標に記載していた「児童・YA資料の収集整備について」「障害者サービスのためのボランティア養成継続」「大活字本の充実」について、記載箇所を変更した。

【委員長】

本件について、質疑を行う。

【委員】

中長期目標の表題直下に、取組の対象期間を明示してほしい。

「図書館施設・機能の充実」について評価しなければいけない。「ブックポスト設置地域についても検討します」とあるが、「検討します」だけだと評価ができないので、評価できる表現での記載を検討してほしい。

「蓄積された資料をもとに積極的な広報や」、のイメージが見えない。何をもって積極的な広報なのか、どうしたいのか、より具体的に表現してほしい。より積極的な広報について今年度はどうするのかというところが見えないので、わかるように記載してほしい。

【図書館長】

指摘を踏まえて、評価を明確にした表現を検討する。

【委員長】

これは委員に再度確認するということか。

(「お任せで」との声あり。)

【図書館長】

事務局で文案を作成し、委員長と確定するという流れとさせていただきたい。

【委員】

学校図書館との連携について、今年度の目標として「学校や学校図書館に職員が出向き…」との記載で学校への協力を感謝しているが、できればそのようなサービスが広報されたうえでのアクションとしてほしい。教育委員会と学校図書サポーター会議だけでなく学校や職員にもPRしてほしい。1年生への読み聞かせを広くやっていく考えもあると聞くが、積極的に広報した上でのアクションとしてほしい。

【委員長】

文言の修正ではなく、要望ということで良いか。

【委員】

可能なら、学校に知らせたうえでの学校へのアプローチという形で整理してほしい。

【図書館長】

意見を踏まえた文言の追加を検討する。

【委員】

重点中長期目標の6項目目の評価結果が75%以上という評価が厳しすぎると過去に指摘したが、今回も残っている点について、どう考えるか。

【図書館長】

中長期目標にかかる文言なので、変更が難しい部分である。

今度アンケートを取る際、評価が「良い」か「悪い」などはっきりした結果となるよう、表現等工夫したい。

【委員】

その他中長期目標にあったリサイクル事業の目標について、図書交流センターの廃止に伴い削除されたとの理解でよいか。

【図書館長】

その他中長期目標「地域の情報拠点としての情報の蓄積」のなかで「市民や利用者の多様なニーズに対応するために、多様な情報資料を蓄積し、各図書館での蔵書の充実を図ります。」として掲げられていたなかに、リサイクル事業を引き続き行う旨の記載があった。今後も除籍が出るので、リサイクル事業自体をやめてしまうわけではないが、計画の「市民や地域の蔵書の有効活用と資料のリサイクル」として図書交流センターとつながっているため、26年度の同センター廃止に伴い、目標から削除した。

【事務局】

その他中長期目標から削除はするが、リサイクル事業については除籍資料の発生に伴い、これまで同様粛々として行っていく。

【委員】

今後は目標として設定しないということでしょうか。

【図書館長】

そのとおりである。

【委員】

N o 6 「自動貸出機・返却機・館内 OPAC などについては、利用者アンケートの結果を参考にした利便性のさらなる向上を目指し・・・」について、本年度中に検討していくのか、これまで行われていて、今年度は行わないけれども今後の方針を整理するのかははっきりしないので、表現を修正したほうが良い。

また、次期システムの導入のスケジュールは。

【事務局】

満足度調査の自由記入欄のシステムに関する設問で、返却機の戻りが多いとか貸出機が良いとか意見を頂いたので、それを生かすつもりである。できれば市のHPから具体的に聞けるアンケートを行いたいと考えているが、まだ進捗していない。入れ替えの時期は現状では年末を予定しているが、伸びる可能性はある

【図書館長】

現在、次期システムのプロポーザル契約作業中であり、これから優先交渉業者が決まり、今後システム開発、テストを実施し、来年頭からは新システムになるという予定である。

【委員長】

意見が出たようなので、事務局にまとめをお願いします。

★議題2 吉祥寺図書館の在りかたについて

【図書館長】

本議題について、前回委員会での中間報告案に対する意見を反映した。本委員会での議論を踏まえ、今後教育委員会等へ報告する。主に前回からの修正点を説明する。

1 はW Tを設置した目的をはっきりさせるため、表題を変更した。

2 教育委員会での議論を踏まえ「現状と課題」の記載を一部修正した。

3 は表題を修正した。また、文中の「出会う」の説明を追加した。

4 は前回委員会の議論を踏まえ、「ビジネスパーソン」「ビジネス支援」を別に項目立てした。

ビジネスパーソンは吉祥寺に通勤している人を対象とし「予約取り置きコーナーの整備」等を考えている。ビジネス支援「まちの情報の提供と発信」について、近接する商工会議所と連携したレフェラルサービスを展開する。市の施策や商工会議所と連携し、立地を生かしたサービスを行っていきたい。また、吉祥寺の事業者の特性から、まちの情報提供が地元事業者への支援にもつながることを記載している。

ハイパーローカル情報（地元密着情報）の提供について、前回各委員の意見を踏まえた内容に修正した。

「気軽さの向上」でも前回委員会で出た2Fへつながる階段の危険性や、ベビーカーの取り回しについての意見を踏まえまとめた。また、(5) (6) は手を加えていない。

5 は施設改修と管理運営形態を分離し、施設改修単独の記述に修正した。これは「予約取り置きコーナー、自動貸出機の増設によって生まれるマンパワーを新たなサービスに振り向ける投資とする」と実現性を述べたものである。その他は修正していないが、展示スペースの充実の「通りがかった来街者からも見える」というのは図書館1Fのガラス張り部分を想定している。

6 は表題を変更し「望ましい管理・運営形態」とした。また、文中に「吉祥寺のまちづくり」の文言を追加している。

3 館構想の実現により、図書館の半径1km以遠の方には不便をかけている現状があり、図書館はまちを活性化させていく役割を果たしていかなければならないという思いを込め、武蔵野生涯学習振興事業団（以下、事業団という。）による指定管理に踏み込んだ。その理由として4点あげている。

1 点目として事業団は市の事業の受託や財援団体として、市・教育委員会と生涯学習への理念が共有されており、図書館行政を通じた継続的なまちづくりが期待できること。2 点目として武蔵野プレイスでは、図書館機能を軸に異なる機能を連携・融合させるなど類似の活動を行っており、事業運営のノウハウやネットワークを生かすことができること。3 点目として武蔵野プレイスの指定管理と一体化により団体のスキルの蓄積・継承がより有効に、継続的に行われ、事業の安定的な実施、事業水準の維持及び向上が期待できること。4 点目として事業団が司書等を有資格者を積極的

に採用し、職員の資質と能力の向上に努め、人材の育成・定着を図っていること。

このようなメリットを総合して事業団が最善の選択であると考え、とした。

7は追加し、吉祥寺図書館の在りかたを考える中で中央館の役割についても整理する必要がある、中央図書館改築時に策定した「武蔵野市立図書館基本構想最終報告」で、中央図書館は市立図書館が一体となって有機的に管理運営される図書館システムの中核とされ、地区館のバックアップとともに図書館全体の総合的な企画運営、資料部門、学校連携や障害者サービス等の奉仕部門の管理を担うことが掲げられているとともに、地区図書館としての役割も掲げられ、利用者のみならず周辺住民にとって身近な図書館であることを目指している。吉祥寺図書館の在りかた検討報告で掲げられた将来像の実現は、上記の構想を継承し、発展させていくための重要な施策である。

各館が地域や施設の特性に応じた特徴ある図書館を目指すとともに、その特徴を市立図書館の一体的運営に活かし、図書館全体の総合的な企画にも活かすことにより双方向かつ有機的な連携が望まれている。以上を踏まえ中央図書館は各館におけるサービスの中核、システム機能上の中核、図書館施策上の中核という3つ機能を持つことを述べ、中央図書館を中核とした市立図書館全体の在りかたを加えた。

図面については前回と変わっていない。

【委員長】

それでは本件について、質疑を行う。

何かあったらご意見ご質問を。

【委員】

望ましい管理・運営形態記載の、事業団の表記を統一したほうが良い。

【図書館長】

修正する。

【委員】

利用者アプローチで、ビジネス支援「レフェラルサービス」について、資料の場所の単なる案内にとどまらず、専門家がきちんといる位置づけをしてほしい。コストの問題はあるが、取組の特徴となるので専門家が介在

するシステムが重要である。他の指定管理施設でもうまくやれていないケースもある。

法規定の「情報の拠点化」「市民の問題解決型図書館の構築」を踏まえ、質を担保し、きちんとやっていく必要がある。

【図書館長】

本市として、決して効率性追求のための指定管理ではない。あくまでより良い図書館サービス、あるべき姿を実現するため事業団の名称を出している。プレイスは複合施設で他の機能も有するため、直接の所管課が生涯学習スポーツ課となっているが、吉祥寺図書館は単独なので指定管理でも所管は図書館になる。数々のサービスについては仕様をしっかりとともに、きちんとしたマイルストーンをおいてやっていきたい。

【委員】

基本理念「出会う」について、「情報との出会い」を含めるべきと思う。図書館にとって重要な役割で、インターネットによるピンポイントな情報アクセス以外に、必要な調べものや他の本など、周辺情報に触れることができるので、人との出会いや情報との出会いも含め、膨らませて書いてほしい。

【図書館長】

表現について工夫したい。

【委員】

「出会う」について、プレイスのような環境で出会うことはイメージできるが、人との出会いというのが、吉祥寺図書館のように狭いスペースでできるのか。本との出会いは当然あると思うが。

【図書館長】

利用者別アプローチでは、特に高齢者と青少年、図書館サポーターとしてグループ活動を行い、人と人がつながるイメージである。気軽な読書会なども良い。吉祥寺図書館には集会室もあり、ボランティア拠点や高齢者の読書会に使える。青少年は図書館活動に参画してもらうなど、大きな出会いではないが、少しでもまちづくりに貢献になればと思う。

【委員】

集会場を活用し、ビジネスパーソンの情報交換イベントを行う。ビジネス支援の中で、異業種交流・情報交換はものすごくメリットが大きい。そのコンセプトはプレイスにもあったと思うが、吉祥寺でも行い、例えば美術関係者や、クリスマスにイベントを共同実施するなど、一緒に来て活動することがまちの活性化につながる「本当の出会い」になる。異業種からの情報のほうが、商品開発につながることもある。十分できると思うのでイベントを考えてもらいたい。

【図書館長】

商工会議所でも同種のイベントは企画していると思う。すみ分けを考えなければいけないので調整したい。

【委員】

商店街の人が集まるというのも良い。

吉祥寺に特化するので、ビジネス関係の本の充実も当然行うのか。

【図書館長】

もちろん考えている。

【委員】

雑誌を増やすとか、新聞も専門誌を用意するなども入っているのか。

【図書館長】

吉祥寺には現在、雑誌新聞で特徴的なものが入っているか。

【事務局】

数は少ない。

【委員】

中央よりも吉祥寺に在庫があるというのも特徴が出て良い。

【図書館長】

どうしても数的には中央やプレイスにはかなわないところがある。内容については工夫したい。

【委員】

場合によっては中央館で購入したものを、吉祥寺に持っていくということも面白いのではないか。

【図書館長】

現在でも吉祥寺にしかないものはあるか。

【事務局】

新聞についてはほとんど同じである。

【図書館長】

今後よく調整していきたい。

【委員】

ビジネス系の書籍を吉祥寺に集中させるのは理想だが、できるのか。スペースの問題もある。ビジネス支援を売りにするなら出来ることを絞り、オリジナルを出していくべきである。集会室活用は大事だが、商工会議所と重複するので、吉祥寺図書館ならではの多業種の方が好きな本、読んでいる本を紹介しあうような、知的イメージのある吉祥寺という場を生かし、面白い本や役立つ本を紹介することを通じて関係ができるなど、きっかけの一つが本という実績を積んで、吉祥寺らしい新たなビジネス支援として出来る図書館の構造、範囲を考えたい。人が違えば集会室で新しい発想が出たり、具体的なことを考えても良い。

4でカタカナをなくそうとしていたと思うが、「ビジネスパーソン」は良いが「ハイパーローカル」は※印で地元密着と説明があるので、新しさを出すならよいと思う。カタカナを使わなくても伝わるが。

また、(2)の後段1行目「(1)ハイパーローカル情報…」の(1)は(3)の間違いでは。

【図書館長】

間違いである。修正する。

【委員】

カタカナはさておき、こういった吉祥寺らしさというのはとても良いと思うので、ビッグイベントにつながっていい流れが出来たらと思う。

質問だが、指定管理で事業団の名称が出ており前例でプレイスがありこ

ここで問題ないと思うが、事業団以外が受託することがあり得るのか。

【図書館長】

指定管理で事業団ではなく、構想実現のために事業団が良いという発想なので、今後教育委員会、条例改正も伴うので議会でも審議される。

【委員】

事業団が良いと思う。

【委員】

ビジネス支援について、ビジネスの質問を受けることができる司書、図書館員について、ビジネス支援協議会が主催する講習会に参加するのが良い。資格を取る取らないは別とし、いろいろ吸収し他の図書館員と切磋琢磨するのはよいと思う。職員は新規に採用するのか、今いる方を育成するのかというところはあるが、今いる図書館員でもできないことではない。

【委員】

補足だがスペースが無いときには、データベースを活用する手はある。コストの問題はあるが、検討しても良いのではないか。

【委員】

「ビジネスパーソンの利便性の向上」で、勤め帰りに図書館で本を受け取ることが多いとあるが、今、平日も開館時間を延長している日があるか。

【事務局】

中央と同じで平日は 20 時までの開館である。

【委員】

土日は 17 時までを延長するところか。

【事務局】

土日も 20 時までやってほしいと、利用者から要望がある。

【図書館長】

見ていると、18 時過ぎくらいがピークになっているようだ。そういうニーズもあるのかもしれない。

【委員】

土日開館延長になるとみなさんが喜ぶと思う。

【委員】

利用者層別のアプローチで項目が6つあるが、前半3項目までは方向がビジネス系で、あとの3項目がそれぞれ高齢者、子ども、青少年で、これからはビジネスに力を入れていくということなのか。

【図書館長】

それぞれ同等である。

【委員】

半分がビジネスで具体的記述だが、他は従来通りの表現という印象である。力の入れ具合を文章量から感じてしまう。

「子どもと保護者」で、「どんな人と出会うのか」について、1回でなくても、読み聞かせに何回か来ているうちにつながって情報交換というのは、継続して参加できる機会があれば増えてくる。集会室でスマホの使い方やアルバムの作り方のWSなどを行い、最後に「こういう本を使うととっても好きなことができますよ」というように蔵書に導くイベントはできる。子どもは読み聞かせに集めて、お母さんはWSに参加したりと、出会いが作れるのでは。ビジネスパーソンの部分では記述があるが、その他でももう少し記述することがあるのではないか。

【図書館長】

軽い重いは無いが、手を付けていく順番のイメージはある。まずは(1)の予約取り置きコーナーや自動貸出機の増設は施設改修もかかわってくる。ハイパーローカル情報でも展示スペースの充実がある。子どものところでも、2階を改装したいというのがあり、予算措置を伴うなど手を付けなければいけない順番という意味合いはある。

いろいろなイベントを行う中で出会いがあり、中央やプレイスはかなり行われているが、吉祥寺はマンパワーの問題などで他館より数が少ない状況はある。

【委員】

まちにお母さんが集まる機会は、ビジネスパーソンと同様にあると思う。ハロウィンの時には着飾った親子が集まっている。地元だけではなく近隣

からも来ている。これらもビジネスにつながるかもしれないので、うまくリンクするといい。

【委員】

結構、お母さんは働いており、子どもは幼稚園に行っているので、平日はあまり子どもがいない。そんな状況で平日、子ども、保護者、気軽さの向上、と言って人が集まるのか。

同時に図書館は静かな場所であるべきだとも思うので、このような記述はどうなのか。静かだから行かないのではなく、行きたいものがあるから行く、ということでは。利用者層別アプローチにある静かな場所だから行けないのではなく、忙しくて行きたくても行けないから行かないのはいか。保育園や幼稚園も小さいころからやっているので、赤ちゃん世代の親子を対象にしているのであればよいが、幼稚園世代も含めると違ってくる。年齢層によって大きく変わってくるので、子どもという定義は難しい。

また、図書館は地域の子どもたちが行ける場所であってほしい。吉祥寺地域の小学生でも、中央図書館であると足を延ばして行かないので、近辺の小学生を受け入れる仕掛けがあると行きやすくなる。どんな人に来てもらいたい図書館にしたいのかというアプローチの仕方によって全然違うが、地域の子どもやお母さんたちが集まってほしいという願いがあるなら、年齢層によってまるで変わってくる。

【図書館長】

ここではかなり小さな子どもを想定している。投書の中でも子どもが小さいので、お母さんが本をゆっくり選べないなどの声もある。

【委員】

それはすごく大切であり、小さいうちから本に親しむのが一番大事なことで、図書館に親しむ子どもを育てることが大事である。

【委員長】

子どもが少ないということでは。

【事務局】

子どもが少ないというか、吉祥寺の子は塾などに行ってしまうので、昼間は少ない。

【図書館長】

今後は本宿小など、ずっとではないが子どもが増えるという調査もある。

【委員】

本宿小は、法政中高の跡地のマンションが原因ではないか。また、桜堤のほうでも同じような理由ですごく増えている。

【委員長】

だいぶ時間も過ぎた。

子どもと保護者のところはよいか。いろいろ意見は出たが、文章としてはなかなか変え辛いというところもあると思う。

前回も申し上げたが、職員のWGがとても意欲的にやってくれていると思う。いろいろ言えばあると思うが、取組みとしてよかったと思う。

【委員】

利用者別アプローチで、後半の3つは昔からあった年齢層である。対して前半は比較的歴史が浅く、今まで考え方として無かったので、例を挙げたほうが良いため具体例が多くなっていると思う。ビジネスにシフトするわけではないと感じたが、本当にビジネスに徹すると、地域住民は後回しになってしまうので、バランスが大事だと思う。

望ましい管理運営形態で、指定管理において危惧されるのがやはりサービスの低下であり、何のための指定管理かとなるので、スキルが蓄積されるように担保されることが大事である。

【委員長】

その他は事務局から何かあるか。

3. その他

【事務局】

現行の委員任期が9月末までのため、次期委員、公募委員について選定時期である。前回同様の選考基準募集することを皆さんに情報提供しておきたい。

また、次回日程をお諮りしたい。

【委員長】

日程調整及び会場の件について、各委員の意見を頂きたい。

【司会】

次回の委員会は7月27日（月曜日）17時半から中央図書館で行うこととする。

【事務局】

事務局から文言の修正をお願いしたい。

アンケートについて「前回」としたが「今回」のほうが適切である。修正をお願いしたい。

【委員長】

それでは全体を通じて何かご意見・質問等はあるか。

（なし、との声あり。）

4. 閉会

【司会】

以上をもって、第6期図書館運営委員会第7回会議を閉会する。